

まちかどフォトニュース

おもしろいこと、珍しいもの、どんなことでもいいので耳よりな情報をお知らせください。
三好市 秘書広報課 ☎ 72-7646



華やかな文化の祭典

第6回三好市文化まつりが、4月21日と22日、市中央公民館で開催されました。今年度から、より迫力ある文化まつりとなるよう、会場を中央公民館に統一し2日間連続して開催されました。初日は芸能・演武大会として舞踊、民俗芸能や太極拳など、2日目は洋楽・邦楽大会としてコーラスや大正琴、詩吟など、文化協会に加盟する市内各地区の団体や個人の方が日ごろの練習の成果を披露しました。また同会場や中央図書館などでは作品展示なども行われ、とても華やかな文化の祭典となりました。



厳かに百手祭

山城町下名の熊野神社で、4月7日に百手祭が行われました。市の無形民俗文化財に指定されている下名地区の百手行事は約350年の歴史をもつ伝統文化で、下名百手保存会の会員らによって引き継がれています。降り積もった雪の中で行われるのは約20年ぶり、この日は略式ながら、はかま姿の射児士と呼ばれる射手が太鼓の音に合わせ向かって1008本の矢を放ち、厄払いや五穀豊穰、家内安全などを祈願しました。8日には、同地区の両皇神社でも百手祭が行われました。



2年ぶりに塩塚高原で野焼き

山城町の塩塚高原（標高1043メートル）で春を告げる野焼きが4月8日に行われました。天候の関係で1日順延となりましたが、山頂で安全祈願の神事が行われたのち、午後6時に着火。地元のホテル会とイチョウ会のメンバーや市の職員らが約2時間かけて、20ヘクタールを焼きつくしました。オレンジの炎が描く絵模様は気象条件や草原の状況により毎年違う顔を見せますが、いつもどおり迫力満点でした。新緑深まるこれからの季節、塩塚高原にちょっと出かけてみませんか。

癒しの祖谷街道を堪能



4月15日、「第8回癒しの健康ECOウォーク」（大歩危・祖谷いってみる会主催）があり、県内外の親子連れなど約160人が参加しました。晴天に恵まれたこの日、眼下を流れる祖谷川の景色や新緑を楽しみながら参加者それぞれのペースで、ミシュラン2つ星の祖谷渓谷を堪能しました。また、コース半ばには地元の野菜や芋がたっぷり入った田舎汁のお接待があり、渓谷の自然を楽しみながら舌鼓を打っていました。最後は祖谷温泉郷の温泉施設で、ウォーキングの疲れを癒しました。

春の訪れ感じる山菜祭り



地元の山菜をふんだんに使った、キリサコ山菜祭りが4月15日、大川持農林業体験施設で開催され、訪れた家族連れらは揚げたてのタラの芽やウドの天ぷら、セリがたっぷり入った熱々のそばきりなど旬の味を満喫しました。また恒例のじゃんけん大会では、勝ち残った参加者に採れ立てのぜんまいや竹の子がプレゼントされました。大川持農林業体験施設では、気軽にそばや豆腐、ピザ作りなども体験できました。（予約制）田舎の家庭の味を楽しみに、一度訪れてみては。

満開の桜の下で花まつり



第21回花まつりが、井川町旭町の子安農村公園周辺において4月8日に開催されました。このまつりは、公園周辺の清掃活動や桜の植樹を行っている地元の石光山桜会が毎年開催しているものです。会場では甘茶やそば米雑炊の振る舞いのほか、句会、お茶席や趣味の作品展示なども行われました。今年はすこし遅く咲き始めた桜も、この日は満開となり、花壇の色とりどりの花や桜を見ながら、参加者はそれぞれに楽しい春のひと時を過ごしました。

細田選手のオリンピック出場を祝い懸垂幕

三好市池田町出身でトライアスロンの細田雄一選手のロンドン五輪出場を祝って4月26日、三好市役所に激励の懸垂幕が掲げられました。細田選手は4月7日に千葉県で開かれたアジア選手権で優勝し、初の五輪代表に決まり、現在は世界シリーズなど各大会を転戦しながら、8月7日の五輪大会に向け挑戦を続けています。トライアスロンは水泳、自転車、ランニングの3種目を連続して行うスポーツ。過酷を極めるこの競技で日本をリードする細田選手に皆様方の熱いご声援をお願いします。



恒例の善蔵寺春の大祭

4月12日、善蔵寺で春の大祭が行われました。境内の桜はちょうど満開の時期を迎えており、護摩殿前を出発した13人の僧侶は、花びらが舞う中、ほら貝などの音色に合わせ、本殿に向けて厳かに練り歩きました。

本殿では大般若転読法要が行われ、僧侶が読経をはじめると多くの参拝客が無病息災や家内安全などを祈願しました。この後、本殿横の広場では日用品などが当たる福もち投げも行われ、大変賑わいました。